第 一 版
２００３

真理の探究シリーズ 3

Dr. ナージー・イブラーヒーム・アルアルファジ 著

浜 カウサル 訳

献 呈

真理を誠実に、正直に、広い心で
探し求める人のために。

もくじ

問題提起:

1.『ただひとつのメッセージ』とは？

2. それについて、聖書ではどのように述べられているか？

3. それについて、コルアーンではどのように述べられているか？

4. それについて、あなたの意見は？

ただひとつのメッセージ！

要点

アダムが創造されて以来、人類の歴史を通じて、***一貫して変わらない唯一のメッセージ***が繰り返し人間に届けられてきた。

そして、人々にこのメッセージを思い起こさせ、彼らを正しい道に戻すために、アダム、ノア、アブラハム、モーゼ、イエス、ムハンマドを含む数多くの預言者と使徒が、***唯一真の神によってつかわされ、このメッセージを伝えた:***

真の神はただひとつ。
彼のみを崇拝し、
彼の命令に従いなさい。

真の神、創造主

アダム	***神は唯一である***
ノア	***神は唯一である***
アブラハム	***神は唯一である***
モーゼ	***神は唯一である***
イエス	***神は唯一である***
ムハンマド	***神は唯一である***

神は、諸々の務めと使命とを果たさせるべく、これらの預言者を、他の数々の預言者および使徒とともにつかわされた。そうした務めと使命としては、次のようなものが挙げられる：

1- 神からの導きを受け入れそしてそれを民に伝える。

2- 「***神は唯一である***」というメッセージを人々に知らせる。

3- 人々の良い見本になる。

4- 神を畏れそして彼の命令に従うよう人々に教える。

5- 信徒たちに信仰、道徳といった重要な事柄を教える。

6- 正しい道から外れた者、神に従わない者、他の神々や偶像等を崇拝している者たちを正しい道へと導く。

7- 人々に、最後に行き着く所（**最後の審判の日**）について、そして何によって天国あるいは**地獄**に至るのかを伝える。

これらの預言者、すべての人間、すべての動物､すべての物を創造したのは同じ**神**である。

言い換えると、全宇宙（自然を含めて）とその中にあるすべてのものを創造したのは***唯一真の神***なのであるということだ。彼は生、死、現世、来世の創造主である。

この真の神、創造主の**唯一性**は明瞭明白であり、**ユダヤ教徒、キリスト教徒、イスラーム教徒**等の啓典において容易に辿ることができる。

ただひとつのメッセージ！

聖書および**コルアーン**における**神**の概念を誠実かつ客観的に調べるならば、**真理の探究者**は真の**神**にのみ属し他のものにはない様々な特質を明らかにすることができる。

この唯一真なる神を、**神**と呼ばれている他の存在と区別する特質には、以下のようなものがある：

- 唯一真の**神**は、創造主であって、創造されたのではない。
- 唯一真の**神**は*ひとつであり、三つあるいはそれ以上であるということはない。***神**に同位者はいない。
- 唯一真の**神**は不可視であり、誰一人として現世で**神**を見ることはできない。**彼**が顕現もしくは具現化し､他の姿形をとることはない。

- 唯一真の神は永遠である。彼は死ぬこともなければ、変化することもない。

- 唯一真の神は、誰も（例えば母親、妻、息子）、そして何も（例えば飲食物や助力など）必要としない。しかし、他のものは彼を必要とする。

- 唯一真の神は、その属性において唯一無二である。人間や動物についての描写を彼に当てはめることはできない。

以上の基準と特性（神のみに属する他の特性も同様である）によって、我々は神々と呼ばれているものを見分け取り除くことができるのである。

つづいて、先に述べた唯一なるメッセージを取り上げるとともに、聖書および**コルアーン**の中から、神の唯一性を確証しているいくつかの節を引用してみたい。

しかしその前に、以下のような考えについて考 察してみよう。

一部のキリスト教徒の当惑：
「神が唯一であることは明らかだ。
我々は唯一の神というものを信じている。
では、一体何が問題だというのか？」

しかしながら、キリスト教についての膨大な量の資料を読み調べ、更に数多くのキリスト教徒との意見交換を行うことを通じて、私は彼らが唯一なる神を、以下のものを含めた上で捉えているということを理解するに至ったのだった。

1―父なる神
2―子なる神
3―聖霊なる神

ここで、実直かつ誠実なる真理の探究者であれば、常識と簡明な論理に基づいて、このように考えるはずだ。

- *神は唯一であると言いながらも、三つの神に言及するというのはどういうことなのか？*

- *神は三つの存在の中に在るひとつの存在なのか？それともひとつの存在の中に在る三つの存在なのか？（３つの中に１つあるのか、それとも１つの中に３つあるのか？！）*

更に、キリスト教の教義によると、これら三つの「神々」は、異なった本性、姿、役割、機能を持っている：

1. 父なる神　＝*創造主*

2. 子なる神　＝*救い主*

3. 聖霊なる神　＝*助け主*

ところで、もしイエス、つまり子なる神（または神の子）が本当に神であるか、あるいは唯一なる神の一部であるとするならば、聖書の中で伝えられている、誰も神を見ることも彼の声を聞くこともできない、ということと矛盾するのではないだろうか？聖書には次のように記されている。

- あなたがたは、まだそのみ声を聞いたこともなく、そのみ姿を見たこともない。（ヨハネによる福音書 / 5章 37節）

- 人間の中でだれも見た者がなく、見ることもできないかたである。（テモテへの第一の手紙 / 6章 16節）

- わたしを見て、なお生きている人はないからである」。（出エジプト記 / 33章 20節）

聖書にある上記およびその他の文言に基づいて考えた時、イエスが神であるという教義と、今まで誰も神を見たことも彼の声を聞いたこともないという聖書の証言との間に、どうやって折り合いをつけられるのだろうかと、私は不思議に思うのである。

当時のユダヤ教徒、イエスの家族、彼の信者は（一部の者たちが信じるところによれば、子なる神であるという）イエスを見、そして彼の声を聞いたのではなかったか？

→ *神に関する真理には、何らかの秘密もしくは隠された意図があるのだろうか？*

聖書では、真の神が強調して証言している。「*...わたしは主である、わたしのほかに神はない。わたしは隠れたところ、地の暗い所で語らず、....。主なるわたしは正しい事を語り、まっすぐな事を告げる。*」（イザヤ書 / 45章 18-19節）

では、何が真実なのか？
この節を再読し、
そのことについて考えて
いただきたい。

それでは、聖書とコルアーンにおいて、唯一真なる神の真実を探し求める旅に出かけよう。

この旅が終わり、この小冊子、特に以下に引用した節を誠実に、正直に、そして思慮深く読み、考察した時点で、ご感想とご意見をお教えいただきたいと思う。

できる限り客観的であるべく、
いかなる注釈もつけることなく
聖書を引用することにする。
注意深く、先入観を持つことなく、
以下の節を読み、
考察していただきたい。

聖書における唯一真の神

（旧約聖書）：

- *イスラエルよ聞け。われわれの神、主は 唯一の主である。*
  （申命記 / 6章 4節）

- *一つ神は、われわれのために命の霊を造り、これをささえられたではないか。*
  （マラキ書 / 2章 15節）

- *あなたがたは知って、わたしを信じ、わたしが主であることを悟ることができる。わたしより前に造られた神はなく、わたしより後にもない。ただわたしのみ主である。わたしのほかに救う者はいない。*
  （イザヤ書 / 43章 10-11節）

- 「わたしは初めであり、わたしは終りである。わたしのほかに神はない。だれかわたしに等しい者があるか。
  （イザヤ書 / 44章 6-7節）

- *わたしのほかに神はない。わたしは義なる神、救主であって、わたしのほかに神はない。地の果なるもろもろの人よ、わたしを仰ぎのぞめ、そうすれば救われる....すべてのひざはわが前にかがみ。*
  （イザヤ書 / 45章 21-23節）

これは旧約聖書のほんの一部である。

その他の同じような節についても考えてみよう。

ただひとつのメッセージ！

聖書における唯一真の神
（新約聖書）：

- *見よ、ある人が彼に近寄って来て言った、「善い先生、永遠の命を得るためには、どんな善いことをしたらよいでしょうか」イエスは彼に言った、「なぜ、わたしのことを善いと呼ぶのか、神おひとりのほかに善い者はいない。*

（マタイによる福音書 / 19章 16-17節、欽定訳）

- *永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また、あなたがつかわされたイエス・キリストとを知ることであります。*

（ヨハネによる福音書 / 17章 3節）

- 『主なるあなたの神を拝し、ただ神にのみ仕えよ』
  （マタイによる福音書 / 4章 10節）

- 『イスラエルよ、聞け、主なるわたしたちの神は、ただひとりの主である。
  （マルコによる福音書 / 12章 29節）

- 神は唯一であり、神と人との間の仲保者もただひとりであって、それは人なるキリスト・イエスである。
  （テモテへの手紙一 / 2章 5節）

神が（三つではなく）
唯一であることを証明するこれ以外の節をあなたは思い出すことができるだろうか？

ただひとつのメッセージ！

コルアーンにおける唯一真の神

- 言え，「かれはアッラー，唯一なる御方であられる。アッラーは，自存され，御産みなさらないし，御産れになられたのではない，かれに比べ得る，何ものもない。」（112章1-4節）

- 「われの外に神はない，だからわれに仕えよ。」（21章25節）

- 「アッラーは三（位）の一つである。」と言う者は，本当に不信心者である。唯一の神の外に神はないのである。もしかれらがその言葉を止めないなら，かれら不信心者には，必ず痛ましい懲罰が下るであろう。（5章73節）

- *アッラーと共に（それが出来る外の）神があろうか。いや，かれらの多くは知らないのである。*（27章61節）

- *アッラーと共に（それが出来る外の）神があろうか。アッラーはかれらが（主に）配して崇めているもの（偶像）の上にいと高くおられる。*（27章63節）

- *アッラーと共に（それが出来る外の）神があろうか。言ってやるがいい。「あなたがたが真実を語っているというのなら，その証拠を出しなさい。」*（27章64節）

まさに、**神の唯一性**（アラビア語でタウヒードという）についてのこのメッセージこそが、コルアーンの本質的なテーマなのである。

結 論

聖書と**コルアーン**の中にある何百という同じような証明とならんで、ここに引用した節は、**真の神は唯一**であるという永遠のメッセージを確証している。*「地の果なるもろもろの人よ、わたしを仰ぎのぞめ、そうすれば救われる。わたしは神であって、ほかに神はないからだ。」*
（イザヤ書／45章22節）

聖書は神が唯一であるということを確言しているだけでなく、真の神、創造主たる神こそが**唯一の救い主**であるということを明らかにしている。*「わたしより前に造られた神はなく、わたしより後にもない。ただわたしのみ主である。わたしの他に救うものはいない。」*
（イザヤ書／43章10-11節）

つまり、この証言に従うならば、*イエス、聖霊、梵天（ブラフマ）、ビシュヌ、シバ、クリシュナ、ブッダ、八百万の神といった、神であるとされているものは、神でもなければ唯一真なる神が顕現した姿でもない、ということだ。*

ユダヤ教徒が他の神々を崇拝するようになってから、*「主はイスラエルにむかって怒りを発せられた。」*（民数記 / 25章 3節）のは、このような誤った信仰のためであった。そして、モーゼは金の子牛を破壊したのである。

対して、初期**キリスト教**の唯一神信仰コミュニティーであるエッセネ派は、**イエス**が説いた一神教の教えを**パウロ**の革新的な教えである三位一体説に変えることを拒み、苦悩と迫害に耐えたのだった。

要するに、**アダム、ノア、アブラハム、モーゼ、イエス、ムハンマド**を含めたすべての預言者は同じ神、創造主から同じメッセージを伝えるためにつかわされたのである。

真の神は唯一。彼のみを崇拝し彼の命令に従いなさい。

これら預言者と使徒は同じひとつのメッセージを伝えたのであるから、**彼らの宗教も同一であるに違いない。**では、彼らの宗教とはいかなるものであろうか？

神の意志への*服従*、それがこれら預言者の伝えたメッセージの本質である。この**『服従』**という語は、アラビア語で**『イスラーム』**という。

just..one3 03.5.12 0:44 AM Page 27

『イスラーム』が神の預言者と使徒すべての信仰であることをコルアーンは確証している。コルアーンが伝えるこの事実は、聖書の中においても辿ることができる。*この点については、神が望まれるのであれば、次の小冊子にて取り上げたいと思う。*

救いを得るには、先に述べたところのメッセージをすすんで、そして誠意をもって受け入れ、信じなければならない。しかし、これだけでは十分ではない。我々は（ムハンマドを含めた）神の真正なる預言者すべてを信じ、彼らの導きと教えに従わなければならないのだ。これこそが、幸福かつ永遠なる来世への入口なのである。

だから、もしあなたが心から真理を探究し、救いを愛し求めるならば、手遅れになる前に、今こそそのことを考えた方が良いだろう。現世での生が終わる前に。死は間もなく訪れるかもしれないが、それは誰も予想などできないことなのだ。

もう一言...

最後の思索

誠実に、正直に、真剣に、客観的に、心を開いて真実を探し求める人ならば、この唯一なるメッセージについて考えた後で、次のような疑問を持つだろう。

→　では、一体何が真実なのか？
→　どこが間違っていたか？
→　自分はどうするべきか？

これらの質問、そしてそれ以上のことはこの小冊子のシリーズで引き続き取り上げたい。神が望むなら！

詳細、質問、提案、感想等につきましては、
下記までお気軽にご連絡ください。

Dr. Naji Iblahim Al-Arfaj

Website: www.abctruth.com

E-mail: abctruth@hotmail.com

P.O.Box 418

Hofuf, Al-Ahsa 31982 KSA

ご意見・ご感想、および誤字脱字のご指摘はどのようなものであっても歓迎しております。（ただし、英語かアラビア語でお願いいたします）

ただひとつのメッセージ！

Ⅰ．真理の探究　ステップ・バイ・ステップ　シリーズ
（学問的および比較的アプローチへ）：
近日刊行
1.Who is He?
2.What is His Nature?
3.Just One Message!
4.What is the Truth?
5.What Went Wrong?
6.The Beauty of Islam!
7.The ABCs of Islam.
8.What Is Next?

Ⅱ．刊行予定の著作：
- Keys to Ultimate Success and Happiness!
- A Letter to Janet!
- Why "We"?

Ⅲ．その他の活動：
- A weekly TV program.*(using creative PowerPoint and Internet materials).*
- TV episodes on video & audio tapes.
- Public lectures on Islam.

参考文献

新改訳聖書刊行会翻訳『新改訳英和対照新約聖書』日本聖書刊行会、1989年
山折哲雄監修『世界宗教大事典』平凡社、1991年
eBibleJapan　http://ebible.echurch-jp.com/
JBS日本聖書協会　口語訳聖書
http://www.bible.or.jp/vers_search/vers_search.cgi
電網聖書　http://cozoh.org/denmo/
日本ムスリム協会　日亜対訳注解聖クルアーン
http://www.isuramu.net/kuruan/
BibleGateway. http://www.biblegateway.com/